

HEM-Net シンポジウム

ドクターヘリと消防防災ヘリの協力体制の強化

シンポジウムの趣旨

現在、地方公共団体のヘリコプターとして、ドクターヘリは 36 道府県に 43 機、消防防災ヘリは全国に 75 機（うち、消防庁貸与 5 機）、配備されている。

それぞれのヘリコプターは各々の役割に応じ自己完結的に活動するのが基本であるが、例えば、ドクターヘリが地域医療や周産期救急、小児救急等に対応していくためには消防防災ヘリとの協働が欠かせず、また、多数傷病者事故や大規模災害の発生時には両者は重要な戦力として協働して活動することが求められている。

そこで、この度、「ドクターヘリと消防防災ヘリの協力体制の強化」をテーマに、①相互に情報を共有するためのシステムの整備 ②指揮運用システムの整備 ③広域メディカルコントロール体制の整備 ④関西広域連合のコントロール体制の実態と課題といった問題について討議し、必要な提言を行うこととする。

日 時：2014 年 10 月 29 日（水） 13：30～17：30

会 場：全国町村議員会館 2 階会議室

シンポジウム次第

総合司会 HEM-Net 理事 西川 渉

1 開会の挨拶（13：30～13：40） HEM-Net 理事長 篠田 伸夫

2 パネルディスカッション（13：45～16：00）

「ドクターヘリと消防防災ヘリの協力体制の強化」

コーディネーター HEM-Net 理事長 篠田 伸夫

HEM-Net 理事 西川 渉

（16：00～16：15 休憩）

3 基調講演 (16:15~17:15)

「新潟県におけるドクターヘリの運用について」

新潟県知事 泉田 裕彦 氏

4 閉会の挨拶 (17:20~17:30)

副理事長 小濱 啓次

パネルディスカッション参加者

パネリスト (五十音順)

JAXA 研究員	小林 啓二
総務省消防庁広域応援室長	杉田 憲英
ウェザーニューズ SKY リーダー	高森 美枝
熊本県防災消防航空隊隊長	堺 憲司
厚生労働省医政局地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室長	西嶋 康浩
関西広域連合広域医療局医療戦略課長	春木 尚登

コーディネーター

HEM-Net 理事長	篠田 伸夫
HEM-Net 理事	西川 渉

[会場地図]

